

# Mich

Minoh City Hospital

## 2010.6 Vol.21



小紫陽花 (滝道にて)

<http://www.minoh-hp.jp>

編集発行：箕面市立病院 患者サービス・広報委員会 ☎072-728-2001(内線2206)

### INDEX

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| 1. チーム医療 (ICT) ————— P.1 | 6. Wave of Nursing (看護局ニュース) ————— P.6 |
| 2. 鏡視下(内視鏡)手術 ————— P.2  | 7. 部門紹介 ————— P.7                      |
| 3. 地域医療室だより ————— P.3    | 8. 地域医療ネットワークシステム ————— P.8            |
| 4. 診療科からのメッセージ ————— P.4 | 9. 広告事業について ————— P.8                  |
| 5. 新任医師紹介 ————— P.5      | 10. 市民医療講座のお知らせ ————— P.8              |

## チーム医療 — ICT —

ICTとは、Infection (感染)・Control (管理)・Team (チーム) で、感染管理チームのことを指します。ICTは、医療関連感染(院内感染)を未然に防止することが主な役割です。当院では、2001年から活動に取り組んできました。ICTは、医師(ICD;感染管理医師)、看護師(ICN;感染管理認定看護師)、薬剤師、細菌検査技師らで構成され、各職種が連携してチーム医療を実践しています。

### 【ICTの活動】

活動のひとつである病棟回診(2回/月)では、各病棟の担当看護師から感染防止対策の必要がある患者さまについてプレゼンテーションを受けた後、抗菌薬の使用や検査提出、感染防止対策のアドバイスをを行うことで改善が図られるようにサポートしています。

これらの活動と並行してサーベイランスを実施しています。サーベイランスとは、常に感染症に関する情報を収集・分析するとともに現場への提案を行い、結果として感染率の低減をめざすことです。この取り組みは全国的なものであり、感染症関連の学会などでも積極的に発表しています。

教育体制の整備にも力を入れており、昼休みを利用したランチョンセミナーや、新規採用者・ICT担当看護師・外部委託職員など職種ごとやニーズに合わせた研修を実施しています。

また、市内小学生を対象としたキッズ感染セミナーを毎年開催しています。昨年度は3月25日に開催しました。セミナーでは、顕微鏡での微生物の観察、蛍光

塗料を使った効果的な手洗い方法の学習、マスクの正しい着用方法の指導などを行いました。手洗いチェックは、保護者のかたのほうが洗い残しが多い(水仕事で手が荒れている影響と思いますが・・・)時もあり、参加者には楽しみながら効果的な手洗い方法を習得していただいています。最後には、手洗い博士の認定証を授与しています。

これらの活動を通して、今後もより一層安全な医療の提供をめざしていききたいと思います。



## 鏡視下(内視鏡)手術専用室を整備しました!

当院では、患者さまの体にとって痛みや負担の少ない鏡視下(内視鏡)手術に力を入れています。この手術を導入後、適応となる疾患は広がり、件数も増加しています。

### 【鏡視下(内視鏡)手術とは】

お腹や胸などに小さな穴を数か所あけて、そこから体の中に細長いカメラや鉗子(かんし)と呼ばれる手術器具を挿入して、体内をテレビモニターで見ながら行う手術のことです。

開腹/開胸手術とは異なり、体に大きな傷をつけることなく手術が可能です。開腹/開胸手術と比べて、術後の痛みが少なく、早期に回復し社会復帰が可能な、体にやさしい手術です。

鏡視下(内視鏡)手術には、お腹の手術を行う「腹腔鏡手術」や胸の手術を行う「胸腔鏡手術」、関節の手術を行う「関節鏡手術」、また体に穴をあけるのではなく、子宮や尿道に機器を挿入して行う「子宮鏡手術」や「膀胱鏡手術」などがあります。

当院では、外科、婦人科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、整形外科などが、患者さまの病状、体の状態を把握し、手術の適応と判断される症例には、積極的に鏡視下(内視鏡)手術を実施しています。

また、年間に約2,900件の手術を行っていますが、この内、鏡視下(内視鏡)手術は、約530件となっています。日本内視鏡外科学会技術認定医も在籍し、安全で質の高い手術の実施に努めています。



〈鏡視下(内視鏡)手術の様子〉



〈内視鏡カメラ〉

この部分を体内へ挿入します



〈かんし〉

### 【鏡視下(内視鏡)手術のメリットとデメリット】

#### ○メリット

- ・手術の創(きず)が小さく、あまり目立たない
- ・手術後の痛みが少ない
- ・手術後の回復が早い
- ・入院期間が短く、早期に社会復帰ができる

#### ○デメリット

- ・手術の視野が制限され、手術器具の操作が制約されるため、高度な技術を要する
- ・従来の手術に比べて手術時間が長くなる
- ・炭酸ガスをお腹の内部に入れるため、高炭酸ガス血症や不整脈を起こすことがある

### 【鏡視下(内視鏡)手術専用室】

平成21年12月に鏡視下(内視鏡)手術専用室を設置し、より安全かつ効率的に手術を行えるようになりました。



〈鏡視下(内視鏡)手術室〉

# 地域医療室だより



## 地域医療室からのお知らせ

### 連携医療機関（医師）の登録について

当院では、患者さまに継続的な医療を提供させていただくため、紹介などを通じて当院との相互連携にご協力いただける地域の医療機関を連携医療機関（医師）として登録させていただいています。

連携医療機関の先生は共同診療により、入院中の患者さまを訪問していただくことにより治療内容の把握や当院の主治医との意見交換を密に行うことができます。

また、退院後は速やかに検査結果や治療経過の報告をいたしますので、その後の継続治療が円滑に行えます。患者さまは、かかりつけの先生と入院診療を受け持つ当院主治医との間で診療の情報が共有され、一貫した治療を受けていただくことができます。

その他、連携医療機関の先生には診療体制や病院広報紙、研修会の案内など各種情報を随時提供しています。平成22年4月23日現在、連携医療機関（医師）は253件を数え、着実に増えてきて

います。

地域医療室ではこれからも地域の皆さまと先生がたの窓口となり、さらに多くの先生がたに登録いただけるよう切れ目のない医療の提供とサービスの向上に努めてまいります。

地域医療室 医療ソーシャルワーカー  
十河千愛



登録医療機関に掲示されています。

## 大阪府がん診療拠点病院の指定を受けました

当院は、3月31日付けで、「大阪府がん診療拠点病院」に指定されました。これは、専門的ながん診療を行う病院として府から指定されたもので、今後ともより一層のがん治療の水準の向上に努め、地域におけるがん医療の充実を図っていきます。



## 診療科からのメッセージ

### 小児科 「健診で血尿といわれたら」



主任部長

山本勝輔

学校検尿制度は日本が世界に誇れる制度の一つです。幼稚園や学校などの定期健診で血尿を指摘された時の対応についてお話しします。

尿は糸球体という場所で作られ、腎盂、尿管、膀胱を経て尿道から体外に出ます。この尿の通り道を尿路といい、尿路のどこかで血液が混じった時に血尿となります。健診では化学反応を用いて調べますが、尿を顕微鏡で調べることで尿路のどこに病変があるのか推測出来ます。また、いつから血尿があったか、肉眼的血尿（濃い紅茶のような、または真っ

赤な色）の有無、家族内に腎臓病のかたがいるかどうかといった情報も診断のために重要です。

次に、血液検査、腎臓超音波検査などの検査を行います。他の検査で異常がなく、軽度の血尿だけであれば定期的な検尿のみで様子を見ます。

多くの場合、食事や運動の制限もあまり厳しいものとはなりません。時にはそれらの制限や薬が必要な場合もあります。また、血尿と蛋白尿が同時に認められる場合にはさらに詳しい検査が必要となる場合があります。その際には、小児腎臓病専門医のいる病院を受診されることをお勧めします。当科にも小児腎臓病専門医がおりますので、かかりつけの医師にご相談ください。

ほとんどの腎臓病において早期には自覚症状はありません。学校検尿で異常が見つかった時、症状がないからといって放置せず、かかりつけの小児科医を受診しその後の検査・治療についてご相談されることが重要です。

### 放射線科 「画像診断とは」



主任部長

井上豊

画像診断は診療の基本であり、多くの疾患の診断や治療方針の決定、及び経過観察に用いられています。特に悪性腫瘍の診断、治療方針決定、その経過観察には画像診断が必須です。

また、救急医療ではCTによる画像診断は必須の検査となっております。

当院放射線科では現在可能な最先端の画像診断機器が備わっています。特に高磁場MRI（3テスラ）、PET-CTは公立病院としては当院ならではの機器であり、画像診断に強力な効果を発揮しています。

画像診断は当科スタッフにより、リアルタイムのレポート作成（診断提供）を行い、迅速な診断、治療方針決定に寄与しています。IVR※では常勤スタッフにより治療法の充実が図られ、迅速な対応も可能となっております。

今年度に血管造影装置、CTの更新も予定されており、更なる高品質の画像診断、IVRを提供できることとなります。

※IVR (Interventional Radiology : 放射線診断技術の治療的応用)

エックス線透視や超音波像、CTを見ながら体内に細い管（カテーテルや針）を入れて病気を治す新しい治療法のことです。（日本インターベンショナルラジオロジー学会HPより）



# 新任医師紹介

①所属科 ②卒年 ③自己紹介

**中田 敦之**

③ 専門は循環器で、心臓疾患・末梢血管病・動脈硬化症・不整脈など幅広く診療を行なっていくつもりです。特に狭心症・心筋梗塞・下肢閉塞性動脈硬化症の治療、ペースメーカー治療は力を入れたいと思いますので、よろしくお願いします。

①内科  
②昭和63年卒

**井手 盛子**

③ 4月より新しく内科に赴任いたしました。出産及び育児、他病院での非常勤勤務後の常勤復帰になります。どうぞよろしくお願いたします。

①内科  
②平成14年卒

**山崎 正美**

③ 箕面市民のみなさまこんにちは。4月より赴任しました内科の山崎です。2年間大病院で研修した後に、5年間公立の総合病院で消化器内科として勤務しておりました。

①内科  
②平成15年卒

**小西 永里子**

③ 平成17年に卒業し、初職研修、後期研修に引き続いて当院内科で勤務することになりました。これからも地域の皆さまのお役に立てるように努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

①内科  
②平成17年卒

**中山 尋文**

③ 大正区の済生会泉尾病院で初期研修をしておりました。同じ大阪でも環境の違いに驚いています。まだまだ至らない部分もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

①小児科  
②平成18年卒

**信貴 経夫**

③ 平成5年北海道大学卒の信貴と申します。3月までは広島県呉市の国立呉医療センターに勤務していました。専門は脊椎外科です。病院の電子カルテに早く慣れてみなさまのお役に立てるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

①整形外科  
②平成5年卒

**乾 恭子**

③ 形成外科医師として勤務させていただいております。乾恭子と申します。皮膚腫瘍の切除や眼瞼下垂症手術など桑江部長とやらせていただいております。よろしくお願いします。

①形成外科  
②平成17年卒

**湊 のり子**

③ 平成17年卒業で、昨年1年間当院で後期研修医として勤務させていただき、今年から常勤として引き続きお世話になることになりました。今後ともよろしくお願いします。

①泌尿器科  
②平成17年卒

**吉岡 恵美**

③ 以前は堺市の病院に勤務していました。4月から箕面市立病院で勤務しています。箕面市の産婦人科における地域医療を担うべく努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

①産婦人科  
②平成17年卒

**浅川 恵美**

③ 4月より眼科に赴任しました浅川です。私は東京で生まれ育ち、眼科医11年目を迎えます。初めての大阪生活で少し緊張していますが、頑張りますのでどうぞよろしくお願申し上げます。

①眼科  
②平成12年卒

**中尾 武史**

③ はじめまして、この春から当院眼科に勤務しております。眼科専門医資格をもち、白内障をはじめとした眼科一般および網膜疾患を専門としています。みなさまへ安心できる医療を提供できるようがんばります。

①眼科  
②平成12年卒

**大谷 奈津**

③ 宜しくお願いいたします。

①麻酔科  
②平成17年卒



**荒木 紀子**

③ みなさまこんにちは。H20年卒業研修医の荒木と申します。4歳の頃から育った箕面市で医療に携わることができ、非常に光栄に思っております。ERを始めとし、市民の皆さまの健康を微力ながら支えさせていただきたいと思っております。よろしくおねがいたします。

①臨床研修医  
②平成20年卒

**杉辺 英世**

③ 大学の近くの箕面市に4年間過ごした後に、また箕面市のみなさんと関われることを嬉しく思っています。患者さまに気軽に話しかけられるような医者になりたいので、病院では気軽に相談して下さい。

①臨床研修医  
②平成22年卒

**竹鍵 真司**

③ 研修医として2年間、箕面市立病院に勤務することになりました。箕面市はとても住みやすく、こちらで仕事ができることを嬉しく思います。地域のために精一杯働きますので、よろしくお願いします。

①臨床研修医  
②平成22年卒

**徳岡 美沙**

③ この春から臨床研修医として市立病院で勤務しています。医師として働きはじめたばかりですが、はやく地域の皆さまのために役立てるよう日々努力していきます。よろしくお願い申し上げます。

①臨床研修医  
②平成22年卒

**西河 潤**

③ 平成22年大阪大学卒業の西河潤です。元々箕面の農家で生まれ育ち、箕面が大好きです。地元の方々の健康と笑顔を守れるよう頑張りますのでよろしくお願いします。

①臨床研修医  
②平成22年卒

**畑 真弘**

③ 平成22年大阪大学卒の畑真弘です。和歌山県新宮市という山と海に囲まれた田舎街で育ちました。自然豊かな箕面が好きでこちらの病院を希望して働かせていただくことになりました。よろしくお願いします。

①臨床研修医  
②平成22年卒

**平野 美樹**

③ 4月より臨床研修医1年目として勤務させていただいております。2年間各科で知識と技術を身に付け患者さまにより良い医療を提供できる医師をめざします。努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

①臨床研修医  
②平成22年卒

**福島 直樹**

③ 平成22年鳥根大学卒の福島です。大学では演劇部で裏方や役者をしていました。地元が箕面市なので馴染みのあるこの病院で働くことができるともうれしいです。どうぞよろしくお願いたします。

①臨床研修医  
②平成22年卒

**山田 理香**

③ 研修医1年目の山田と申します。箕面市立病院はスタッフの方々が明るく親切で勉強熱心なので充実した研修生活を送らせていただいております。1日1日を大事に学んでいきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

①臨床研修医  
②平成22年卒

# Wave of Nursing (看護局ニュース)

## 患者サービスの取り組み－患者さまへの情報提供－

外来師長 羽田 誠子

当院では「患者サービス・広報委員会」を設け、全職員で患者さまのサービス向上を目的としたさまざまな活動に取り組んでいます。さらに看護局においても「患者サービス向上委員会」を設置し、各部署の看護師が日々活発な「患者サービス活動」を行っています。

今回はその活動の一つである、「患者さまへの情報提供」について紹介したいと思います。

各病棟や外来・手術室などの部門に所属する看護師が、患者さまの治療や看護に関する内容のポスターを作成し、院内（外来や病棟ラウンジ等）10ヶ所の掲示板に掲示しています。各病棟には主に担当する診療科があります。例えば3階東病棟は産婦人科、3階西病棟は小児科と日帰り手術、4階東病棟は外科系の疾患、3階南病棟は回復期のリハビリを中心とした診療科などです。それらの専門的な治療と看護について、幅広いテーマで、患者・家族のみなさまに治療経過に応じた多くの医療情報をわかりやすく提供していくことが狙いです。

また、特殊で見えにくい手術室やICUでの看護も紹介しています。

平成20年度から開始し今年で3年目の取り組みですが、年3～4回のペースで内容の切り替えを行っています。各病棟からの情報提供のテーマは、現在70テーマになり、心臓病の日常生活注意点、成人病の原因となる食習慣、糖尿病のかたへ外食時のポイント、感染予防の基本について（内



|   |   |
|---|---|
| <p><b>心臓病の日常生活注意点</b></p> <p><b>【食事について 1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脂肪やコレステロールのすくない食べ物にし、加齢のとりすぎに注意しましょう。</li> <li>肥満予防に、揚げ物は1回/週のお楽しみ程度で!</li> </ul> | <p><b>【食事について 2】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>塩分の摂りすぎに注意しましょう。</li> <li>1日に塩分は6gまでに。お酒やコーヒー・紅茶などのカフェインは少量なら積りません。</li> </ul>  |
| <p><b>【運動について 1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動は薬の作用がきれかかる早朝や夏の炎天下、食後1時間は避けましょう。</li> <li>運動中の水分摂取はマメに行いましょう。</li> </ul>                                 | <p><b>【運動について 2】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動後のアルコール飲料避けましょう。</li> <li>運動後の急激な条件により脱水を起こし血液が濃くなることで、梗塞を起こしやすい状態です。上記のことに気を付けましょう。</li> </ul>                           |
| <p><b>【排泄について 1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排便時は「いきむ」ことをさけてください。また冬の夜などは急激な温度差とならないようにしましょう。</li> <li>いきんだり、温度差などで血圧が上がります。</li> </ul>                  | <p><b>【排泄について 2】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排便習慣をつけましょう。</li> <li>食物繊維を摂りましょう。しかし、摂りすぎはかえって便秘になります。</li> <li>起きぬけのコップ1杯の水分摂取や、空腹を感じてからの食事摂取心がけましょう。腸の蠕動を促します</li> </ul> |

科)、化学療法について、深部静脈血栓について（外科系）、母児同室について（産婦人科）、下痢、麻疹について（小児科）、更衣の方法（回復期リハビリ）、全身麻酔で手術を受けられた患者さまの術後ケア（手術室）、内視鏡感染対策のPR、大腸ファイバー検査前の注意点（外来）等と内容も多岐にわたっています。毎回これら1つのテーマを約6枚のポスターにわかりやすくまとめ、掲示しています。

患者・家族のみなさまからは、「専門的な治療法や生活習慣について理解できた。」「目立つし、絵がわかりやすく、具体的でよい。」「便秘が心臓に負担をかけることや、便通を整える留意点などが理解でき、退院しても続けられ役に立ちそう。」と好評です。また、インフルエンザの情報や高齢者のテーマについて取り扱って欲しいなどのリクエストをいただきました。

今後も地域に根ざした病院として、病院・医療・看護について、さらに幅広くわかりやすい情報を提供していきます。

## 部門紹介

## 中央検査部



現在、臨床検査技師20名と受付スタッフ1名が在籍しています。

臨床検査技師の日常業務は採血、検体検査、生理検査の3種類に大別されます。

### ●採血・検体検査

当院では小児を除く外来患者さまの採血を臨床検査技師が行っています。そのため、医師から採血項目の追加があった場合や複数の診療科から採血依頼があった場合でも、検査に必要な最低血液量の確認をして採血することができます。また、待ち時間が少なくなるよう努力し、採血の技術の向上にも日々努めています。

採取した血液は専用の直通エレベーターで速やかに2階の検査室へ運ばれます。検査室へ届く検体は血液の他に、尿、糞便、喀痰、髄液、穿刺液、臓器・病理組織などがあります。これらの検体は種類、目的によって専門の検査技師が検査を行い、結果を報告します。

異常値、緊急を要する結果が出た場合や疑問に思うような結果が出た場合は、主治医へ連絡したり、患者さまの状態や検体の取り扱い方を確認したりもします。

このように採血から結果報告まで責任をもって行っています。

### ●生理検査

生理検査とは医師の指示のもとに患者さまに臨床検査技師が直接に接し、身体の構造や機能に関するさまざまな情報を専用の機器で読み込み、解析する検査です。心電図検査、超音波検査、脳波検査などがあります。

当院では患者さまのプライバシー保護のため、検査装置ごとに区切りを設けて検査を実施しています。また、緊張や不安を与えることなく常に患者さまの立場にたった環境作りをめざしています。

### ●その他に・・・

夜間・休日の救急患者さまにも対応できるように24時間体制で検査を行っています。

主に血液検査、輸血検査、髄液検査、インフルエンザなどの細菌・ウイルス検査を実施しています。また、入院患者さまの血液検査は朝6時には準備を開始し、医師が外来診察前に結果を確認できるよう早朝検査を行っています。

迅速かつ正確な検査データの提供をモットーにスタッフ一同日々の業務に取り組んでいます。



# ||||| 地域医療ネットワークシステム |||||

## 地域医療ネットワークシステムの運用を開始します

市立病院では、平成14年から電子カルテシステムを導入し、患者さまの診療に関する様々な情報を電子的に保存し、診療の効率化と質の向上に役立ててきました。

これらの貴重な情報を、地域の医療機関での診療にも役立てていただくため、患者さまの同意のもとで地域の医療機関から市立病院の電子カルテの情報を参照できる「地域医療ネットワークシステム」を構築しました。

このシステムにより、かかりつけの医療機関で、同

意を得た患者さまについては、必要に応じて市立病院での診療内容を即座に確認でき、かかりつけ医の診療に役立てることができるほか、市立病院と地域の医療機関との連携や共同診療の充実につながるものです。

現在、市内の約36の医療機関に参加していただいております。この4月から順次運用を開始しています。

なお、この事業は、総務省の地域ICT利活用モデル構築事業の指定を受けて構築したものです。

### 広告募集中です！

当院の新たな財源の確保と事業の経費削減を図り、市民サービスの向上と地域経済の活性化に寄与することを目的として、広告事業を実施しています。

現在募集中の広告媒体は、次のとおりです。

#### 【広告の種類】

- (1) 病院広報紙Mich (ミック)
- (2) 病院案内、入院案内、外来案内

詳細は、市立病院ホームページ (<http://minoh-hp/intra/koukai/INFO/200910.html>) 又は事務局経営企画課までお問い合わせください。

私たちは箕面市立病院とともに地域医療に貢献しています

**Hi-taste,Hi-communication**

よい味・よい語らい  
を企業スローガンに  
病院・福祉・学校・企業等幅広く  
給食事業を展開しています

**株式会社 テスティバル**

〒550-0013 大阪市西区新町1-10-2(大阪商業ビル)  
TEL.06-6535-6123 FAX.06-6535-6200

医療関連サービス事業者(患者給食)認定  
ISO14001:2004(環境マネジメントシステム)認証取得  
ISO9001:2006(品質マネジメントシステム)認証取得

**青空 (編集後記)**

いよいよ田植えの季節となり、当院の近くの田でも早苗をちらほら目にするようになりました。

すでに、蛙の声が聞こえることもあります。

当院も新たなメンバーを迎えました。

今年は、例年より気温が低い日が多いようですが、苗が太陽の日を浴びながら、しっかりと大地から栄養を受け、秋には金色の穂が穂ることを楽しみにしています。

### 平成22年度市民医療講座のお知らせ

各診療科の専門医が、診療内容や最新の情報をお伝えする「市民医療講座」を昨年度に引き続き開催します。

|                                       |  |  |
|---------------------------------------|--|--|
| 6月26日(土)<br>14:00~16:00<br>(メイプル小ホール) | 日進月歩の糖尿病診療   | 糖尿病センター長<br>飯田さよみ医師  |
| 9月救急医療週間<br>午後<br>(いろはホール)            | 未定<br>*健康福祉部と共催  | 箕面市医師会<br>調整中<br>総合診療科医長<br>星美奈子医師                         |
| 10月22日(金)<br>13:30~15:30<br>(いろはホール)  | 婦人科疾患の早期発見と最新の治療方法について<br>*健康福祉部と共催  | 産婦人科主任部長<br>足立和繁医師   |
| 10月23日(土)<br>14:00~16:00<br>(いろはホール)  | がん診療について<br>*OGSG(大阪消化管がん化学療法研究会)と共催   | 外科主任部長<br>飯島正平医師<br>がん診療推進部長<br>加藤健志医師<br>看護局<br>加藤理香認定看護師 |
| 1月22日(土)<br>14:00~16:00<br>(メイプル小ホール) | 白内障について<br> | 眼科主任部長<br>西泰雄医師<br>眼科医長<br>浅川恵美医師<br>眼科医長<br>中尾武史医師<br>予定  |

\*予定は、一部変更となる場合がありますので、ご了承ください。

